

追悼文

あの日から一年がたちました。

地震と津波は、そこにあった日常生活を襲いました。2万人にもものぼる死者・行方不明者の一人ひとりとその周りの人々の心中を思うと胸が痛みます。原発事故は、いまだに平穏な生活を奪い続けています。避難した人びと、現地で暮らし続けている人びと、双方に襲い続けている放射能の恐怖を生み出した原発への怒りの気持ちでいっぱいです。そして、遅々として進まない復興に苛立ち、苦しんだ一年でもありました。

いま私たちは、「自分に何ができるのか」「復興にどう役立てるか」とみずからに問いかけています。そして、一日も早い復興を成し遂げ、二度と同じ苦しみを生み出さない未来をつくっていくという誓いをたてます。

すべての犠牲者の方々に思いを馳せて、故郷を取り戻し、次の世代に、今度こそ安心して安全な未来をつくっていくことを胸に誓い、追悼の気持ちを表したいと思います。

黙祷。